



にしな ふみひで  
仁科文秀議員

笠岡の魅力の象徴 古城山公園をもっと生かしたい

議員 笠岡をアピールするために古城山公園の存在は大きく、昭和10年の山陽新報(現在の山陽新聞)に県民の投票で岡山県内の10の景勝地の一つに選ばれている。整備に力を入れていただきたい。

市長 見晴らしを阻害する樹木のせん定・伐採、展望台の案内板等の整備に引き続き努め、市民に愛される公園にしたい。

政策部長 古城山公園からの魅力的な写真を発信したい。移住を考える方には古城山から笠岡を一望いただき、市の紹介をしている。

議員 そこへ行ってみたいと思わせる魅力は①景色がいい②食べ物がおいしい③歴史文化遺産があるの3点。笠岡は全て満たしている。



笠岡の歴史や文化をもっと市内外に強く発信したい

議員 昨年、竹喬美術館の作品を市内の公民館等へ出張展示した。どう総括し、今後どうするのか。

教育部長 鑑賞者からは本物の美術品を見ることができ、寄贈者からは多くの人に見てもらえてうれしいとの声がある。館外展示の実施要領に沿って今後も継続したい。公民館とも協議し生涯学習課も責任を持って管理に努めたい。

議員 10月3日から約2か月間、笠岡諸島の高島ゆかりの企画展が郷土館であった。多くの人に見てもらえる工夫が必要ではないか。

教育部長 主に市民へ広報した企画展の入場者は178人だった。郷土館の移転も含め歴史文化を紹介できる施設の設置を検討する。



まなべ ようこ  
真鍋陽子議員

ふるさと納税について問う

議員 自主財源を増やす取組として重要視しているふるさと納税制度に対するビジョンをたずねる。

市長 ふるさと納税をきっかけとして、農村と都市間の交流事業など、交流の輪を広げ、交流人口の増加や関係人口の拡大を図る取組などを検討していきたい。

議員 ふるさと納税の対象として笠岡を選んでくださった方々の選択の幅を広げるために、市内観光パンフレットを兼ねたカタログギフトを作成することはできるか。

市長 リピーターの確保や交流人口の増加が期待できると考えられるので、笠岡に行ってみたくと思えるような魅力を満載した総合カタログの作成を検討していきたい。



気候変動対策について問う

議員 新庁舎、市民病院の建て替えなども検討されている中で、岡山市や福山市のような電力の地産地消事業は検討されているのか。

市民生活部長 これから取り組むことが可能な施設については、可能な限り省エネや温室効果ガス削減を含めた取組を環境課担当サイドとしても提案していきたい。様々なイノベーションによって取組を取り上げやすい状況も生まれてくると思う。最新設備の導入等も提案していく中で、必ず導入していきたいと考えている。

※他に「新型コロナウイルス感染症」、「県知事選」、「火災件数の推移」、「市民病院小児科」、「特別支援教育の充実」についての質問をしました。

